

報道発表資料
平成 27 年 11 月 18 日
国立国会図書館
東北大学災害科学国際研究所

平成 27 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム ー地域の記録としての震災アーカイブ～未来へ伝えるために～ 開催のお知らせ

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、平成 28 年 1 月 11 日(月・祝)に「東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム」を東北大学にて開催いたします。

東日本大震災発生から 5 年目となる 2015 年は、自治体が東日本大震災に関する記録を収集し、デジタル化した資料をインターネットで公開する「震災アーカイブ」が相次いで構築されました。今回のシンポジウムでは、自治体が震災の記録をデジタルアーカイブとして保存し、公開する意義を考え、その課題について議論を行います。

2004 年にスマトラ沖地震により甚大な被害を受けたバンダ・アチェ市(インドネシア)から、アチェ津波博物館館長のトミー・ムリア・ハサン(Tomy Mulia Hasan)氏を特別講演者に招き、海外における災害メモリアル施設と震災アーカイブの実例を紹介します。

特別講演に続き、被災自治体における震災アーカイブの事例報告、国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」と東北大学災害科学国際研究所「みちのく震録伝」の進捗報告、岩手県における震災アーカイブの状況報告を行います。さらに、パネルディスカッションでは、自治体による震災アーカイブの意義と課題について議論します。

○日時及び会場

日時：平成 28 年 1 月 11 日(月・祝) 13:00～16:30

会場：東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール

(宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1)

○参加及び参加申込み

(1)定員：200 名(先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。)

(2)参加費：無料

(3)申込み：下記 URL のシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp> (みちのく震録伝)

問い合わせ先：

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野 小野, 柴山

電話番号：022(752) 2099 E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

○プログラム

●特別講演

「博物館における教育・研究活動と災害アーカイブの統合

ーアチェ津波博物館におけるアチェ津波デジタルアーカイブ (DATA) ー」

Integrating Disasters Archives into Museum Education and Research:

The Digital Archives of Tsunami in Aceh (DATA) at the Aceh Tsunami Museum

トミー・ムリア・ハサン (アチェ津波博物館館長)

●事例報告

「青森震災アーカイブについて」

漆戸啓二 (八戸市防災危機管理課主事)

「東日本大震災アーカイブ宮城について」

菊地正 (宮城県図書館副館長)

「浦安震災アーカイブについて」

白沢靖知 (浦安市立中央図書館奉仕第2係係長)

●進捗報告

「岩手県における震災アーカイブの現状」

柴山明寛 (東北大学災害科学国際研究所准教授)

「ポータル (入口) としての国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」」

諏訪康子 (国立国会図書館電子情報部主任司書)

「社会の減災を指向する災害アーカイブと災害伝承

ー「みちのく震録伝」と震災発生から5年目の災害科学的アプローチー」

佐藤翔輔 (東北大学災害科学国際研究所助教)

●パネルディスカッション

「地域の記録としての震災アーカイブ～未来へ伝えるために～」

上記事例報告者及び進捗報告者



(参考)

青森震災アーカイブ

<http://archive.city.hachinohe.aomori.jp/>

東日本大震災により被災した青森県内の八戸市、三沢市、おいらせ町、階上町の共同事業として構築されたアーカイブ。行政文書のほか、市民から集めた、写真、動画や体験談も収録している。東日本大震災を風化させず、命、防災の大切さを次の世代に伝え、少しでも次の災害の被害を少なくするために公開。

青森震災アーカイブ

東日本大震災を風化させず、
教訓を次の世代へ伝える為に

東日本大震災アーカイブ宮城

<https://kioku.library.pref.miyagi.jp/>

東日本大震災に関する記憶の風化を防ぐとともに、防災・減災対策や防災教育等に関する効果的な利活用を図るため、宮城県内の東日本大震災の記録を収集、デジタル化し、公開するシステム。行政文書のほか、写真、動画等も収録している。

東日本大震災アーカイブ宮城

～未来へ伝える記憶と記録～

浦安震災アーカイブ

<http://urayasu-shinsai-archive.city.urayasu.lg.jp/>

東日本大震災により被災した千葉県浦安市により構築されたアーカイブ。浦安市の行政文書・写真・動画のほか、民間の研究機関や大学などで作成された学術資料や調査記録、市民の皆さんから集めた体験談などが収録されている。東日本大震災の脅威と復興への取り組みを後世に継承するため、震災による被災状況や応急対策活動、復旧、復興の取り組みを記録、保存し、その利活用を促進すること等を目的に公開。



国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）

<http://kn.ndl.go.jp/>

国立国会図書館が運営する、東日本大震災に関するあらゆる記録・教訓を次の世代へ伝えることを目的としたポータルサイト。被災地の復旧・復興事業や、今後の防災・減災対策に役立てられるよう、公的機関、民間団体、報道機関等による記録・報告書や大学、学会、研究機関による学術研究の成果などを包括的に検索できる。



みちのく震録伝

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/>

東北大学災害科学国際研究所が産官学民の約120機関と連携して、東日本大震災に関するあらゆる記憶、記録、事例、知見を収集し、震災の実態解明および被災地支援、国内外への防災・減災対策への展開、国内外や未来に共有するプロジェクト。約10万点の震災記録を公開している。

